

9月議会へ提案された補正予算は、新型コロナ対策を中心に、熊本南部豪雨支援・熊本地震等

9月議会に提案された補正予算は、新型コロナ対応を中心に、7月発生 of 豪雨災害の復旧等、熊本地震復旧・その他です。補正総額 11 億 4,896 万円

【新型コロナ感染症への対応】 54 億 8,257 万円 (主なものを紹介します)

(感染拡大防止)

- ・ 児童養護施設・保育所等の感染防止対策支援の相談窓口設置 320 万円
- ・ 介護施設等の感染防止対策への補助 (換気設備設置等・7 施設) 4,980 万円
- ・ 子育て支援センター等のマスク等購入 (1ヶ所 50 万円・27 か所) 1,350 万円
- ・ 児童育成クラブの感染防止対策 (空気清浄機など) 6,540 万円
- ・ 専門的人材の育成・新興感染症研究のための講座 (熊大病院) 1,251 万円

(市民生活を守る支援)

- ・ 公民館や「はあもにい」におけるオンライン講座の配信 350 万円
- ・ Wev やメールによる DV 相談体制の強化 150 万円
- ・ ひとり親世帯への生活支援給付金支給 (1 世帯 2 万円) 2 億 1,000 万円
- ・ 「新しい生活様式」を踏まえた健康ポイント事業 500 万円
- ・ 学習支援テレビ放映 (夏休み期間中の中 3 への支援) 1,270 万円
- ・ 市立高校・平成さくら支援学校タブレット整備 (1 人 1 台) 3 億 1,710 万円

(地域経済への支援)

- ・ 中小企業資金繰り融資への利子補給 53 億 1,900 万円
- ・ 商店街プレミアム付商品券発行への助成 1 億 7,000 万円
- ・ プレミアム付タクシー券発行への助成 1,600 万円
- ・ 中小企業向け IT 導入セミナー開催 100 万円
- ・ 中小企業総合相談窓口設置の期間延長 (2021 年 3 月まで) 1,680 万円



日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町 1-1 3 階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1201

2020年9月6日号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索



【豪雨災害関連】

3 億 7,577 万円

- ・ 7 月の熊本南部豪雨災害への支援 (人員派遣や物資提供等) 7,572 万円
- ・ 熊本市内における豪雨災害の復旧

(芳野コミセン土砂撤去等 600 万円、農地・農業施設復旧 2 億 3,050 万円
農漁業者融資の利子補給 約 5 万円、道路・河川・公園等の復旧 5,550 万円)

【熊本地震関連】

8 億 3,469 万円

- ・ 城南 B&G 海洋センター復旧、近見地区液状化対策など



【その他】

- ・ さくらカード関連 (カード使用期限の延長・IC カードの期限廃止) 6,900 万円
- ・ 高齢者施設等への非常用自家発電設置補助 (グループホーム等) 6,340 万円
- ・ 自立支援ホーム居住の大学生・児童養護施設退所者への支援 364 万円
- ・ 鳥獣被害対策 (ミヤマガラス対策) 160 万円
- ・ 公園整備 (ベンチ改修や神園山・小山山緑地遊歩道整備) 1,800 万円

【控室から】 同級生の5周忌

なすまどか



高校時代を共に野球部で過ごし、かけがえのない親友だった S 君が、5 年前、突然亡くなりました。周りへの気遣いを誰より大切にし、皆から慕われていた S 君は実家の農業を継ぎ、私が帰郷する時には、高校時代のエピソードを懐かしみながら酒を酌み交わし、近況を報告しあう仲でした。5 年前の 8 月、酷暑が続いていた日の早朝、日課の農作業を終え、自宅の部屋で休んでいたまま、彼は息を引き取りました。死因は、熱中症でした。室内での発症が 4 割近くになる熱中症は、重症化するまでの自覚症状がわかりにくい疾病と言われています。今年も全国各地で、エアコンのない室内で死亡する例が後を絶ちません。こうした中で、経済的な理由でエアコンが設置できない世帯に対し、独自の設置補助を行っている自治体が増えていきます。私も過去の一般質問でこの問題を取り上げましたが、実現には至っていません。親友の死を通じ、政治や自治体の努力で救える命があるのなら最大限の支援を行うべきだとの思いを強くしています。引き続き力を尽くす決意です。

身近な道路や河川・公園などの改善 市内4ヶ所の土木センターへ要望

8月21日、身近な道路や公園などの改善を求めて、市内4ヶ所の土木センターへの要望を行いました。生活道路のデコボコや穴、歩道や側溝の改善、街路樹の剪定、公園の整備、カーブミラー設置、用水路の草刈りなど、さまざまな要望が寄せられました。

傷んだ道路・歩道の改善は、おおよそ改善の方向での対応の回答がありました。しかし、地権者の同意が得られず、長年懸案になっている箇所については引き続き課題として残りました。

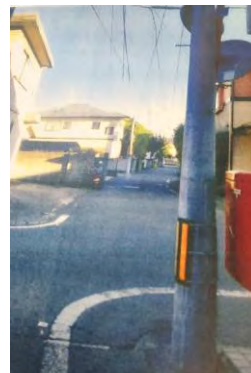
カーブミラーの設置・修理は、条件に合うものは急ぎ実施の予定です。

公園・街路・遊水地等の樹木の伐採・除草は、近々取り組んでいただくことになりました。

渋滞解消などは、道路の拡幅等も必要となるので、急ぎの対応は難しいようでした。予算確保・地権者の同意などが必要となります。

土木センターで実施する作業は、市民の毎日の安全・安心に直結しています。限られた予算の中で、今年度内に対応できるもの、次年度の対応となるものがありましたが、土木センター関連の予算の引き続く拡充が求められます。党市議団としても、予算増額を求めています。

その後も、追加要望が寄せられています。身近なところで、お気づきがあれば、引き続きお寄せください。



低所得世帯へのエアコン設置助成は急務

「熊本市生活と健康を守る会」のみなさんと、熊本市へ要望

記録的な猛暑、エアコン設置は切実な声

今年の夏も、記録的な猛暑となりました。今やエアコンは、いのちと健康を守る必需品です。9月1日、「熊本市生活と健康を守る会」は、熊本市へ、低所得世帯等へのエアコン設置助成や電気代支援等を要望、党市議団も参加しました。

参加者からは、「生活保護世帯には、夏に7~8,000円も増える電気代の負担が重い」、「エアコンがあるが、つけないで我慢している」などの声がありました。



【要望内容】

- 1、生活保護世帯のエアコン設置状況調査と、未設置世帯への設置補助拡充・修繕費支給、電気代相当分の夏季加算実施を国へ求める
- 2、熱中症リスクの高い高齢者・障がい者等世帯に、市独自に設置補助を行う
- 3、市独自に生活保護世帯・低所得世帯・母子世帯等への電気代補助を行う

全国的には自治体独自補助が次々に……熊本市でも実施を！

福岡県芦屋町では、適切なエアコン使用を促すために、すべての世帯へ一律1万円の「電気料金支援給付金」を支給

兵庫県香美町は、75歳以上の高齢者世帯を対象に、エアコンの購入・設置費用を助成（上限10万円）

群馬県大泉町では、70歳以上のみ世帯へ、冷房機器の購入・設置に商品券で半額助成（上限3万円）

東京都小金井市では、65歳以上のみ世帯の冷房機器購入に上限5万円の補助

